

	ホーム	学校案内	学校（校種別）で探す	学校（市町別）で探す	カレンダーで探す	
--	-----	------	------------	------------	----------	--

2024年 上海国際友好都市青少年サマーキャンプ

2024年8月28日更新

7月3日（水）～16日（火）の2週間、中国上海で行われたサマーキャンプに本校2年生3名（文理探究科2名・普通科1名）が参加しました。

上海と友好を結ぶ世界各地16か国から120名の参加者と、89名の中国人ボランティアが参加し、一緒に中国文化を経験したり、上海観光を楽しんだりなど異文化交流を図りながら、とても有意義な時間を過ごすことができました。



参加生徒の感想はこちら == == == >>> [参加生徒感想【PDFファイル／218KB】](#)

学校の連絡先

[長崎北陽台高等学校](#)

住所：〒851-2127 西彼杵郡長与町高田郷3672

電話：095-883-6843(校・事), 883-6844(職), 887-2146(職)

ファクシミリ：883-0776

参加生徒①

今回、サマーキャンプで過ごした二週間は、当たり前が当たり前じゃないことの連続だった。福岡で飛行機に乗り込んだ瞬間から海外。を目の当たりにした。飛行機内の広告は一切中国語で、乗務員に日本語を喋れる人は一切いなかった。これからの生活が上手くいくか不安を覚えた。また、上海に着いて初めての夜、歯磨きをする時に水道水は使えなかった。

上海は道路が右側通行なので、中央分離帯の右側を走っている違和感が凄まじかった。料理が大皿で運ばれてきた時は、自分の皿に移すための箸やスプーンはなく、各自の箸などで料理を取った。そして、室内で靴を脱ぐという文化はなく、他の国の人らは室内でも靴を履いて生活していた。

また、海外らしい光景というものにもたくさん出会った。いくつか観光地で買い物する機会があったが、何回も押し売りの被害に遭いかけた。また、中国料理は辛いという認識を持っていたが、日本の東西で変わるように、地方によって味付けの特徴が変わるようで、上海料理は辛いものがあまりなかった。現地のスーパーに訪問した際に、中国で販売されているお菓子を買おうとしたら、日本製品や韓国製品が多く販売されていた。また、やりたい時にタクシーのバイトをして稼ぐことができるという。このように、日本にはない光景に多く出会い、今までの自分の考え方を大きく変えることができた二週間になった。

参加生徒②

私は普段自分が過ごしてきた環境とは大きく違う海外へ行き、文化や生活に触れたり、生まれ育った国も言語も異なる人々と交流をすることでこれまでの自分の価値観を変え、様々な事へ対しての視野を広げることによって新しい自分を見つけたいと思い、上海国際友好都市青少年サマーキャンプに参加しました。

サマーキャンプではまず、様々な伝統文化体験やホームビジット体験を通して古くから中国に伝わる文化や実際に上海に住んでいる人の暮らしなどを身をもって体験することができました。また、自分たちが住む都市の理想の未来の姿を模型で作り、プレゼンテーション方式で発表するシティ・ドリーマー・プロジェクト体験では限られた時間の中で大きな模型を完成させ、全て英語でプレゼンテーションを行うことなどはとても大変でしたが、最後には賞を取ることもでき、長崎からの参加者 5 人全員で力を合わせたからこそその大きな達成感を味わうことができました。上海市内観光や東方緑舟での野外活動は全てが人生で初の経験だったのでわくわくし、新鮮な気持ちでした。中でも黄浦江クルーズからの眺めと豫園の景色はとても美しく、深く印象に残っています。

約 2 週間のサマーキャンプ中には様々な国籍の友達ことができました。沢山話して笑い合ったり、食堂でみんな一緒に手を合わせて「いただきます」と言ってからご飯を食べたり、とても楽しい時間を共に過ごしました。キャンプ最終日、余白が埋まるくらい沢山寄せ書きし合った T シャツは私の宝物です。帰国した後、二度と会うことができないかもしれない友達との別れはとても寂しかったです。友達のみんなは英語で流暢な会話ができない私でさえ理解出来るように沢山の嬉しい言葉を沢山かけてくれました。皆から受けた思いやりと優しさを胸に、私も言葉で人の心を暖めることのできる人になりたいと強く思いました。

これらの全ての経験は私の人生においての忘れられない思い出です。私達のために活動してくださった中国人ボランティアの方々をはじめ全ての人に感謝します。

参加生徒③

交流・合作・友情・理解この 4 つの目標を掲げ、中国人のボランティアの先生と現地の学生ボランティア 3 人を合わせた計 10 人で私たち日本チームのサマーキャンプはスタートしました。このキャンプには 16 カ国から上海の友好都市である 17 都市が参加しており、キャンプ中の会話はほとんど英語だったため、私自身の英語力の向上につながる良い機会になりました。

私がこのキャンプで一番印象に残った活動はシティードリーマープロジェクトです。この活動では、未来の長崎を環境やデザインなど様々な面に配慮しながら設計し、設計したものの模型を自分たちで一から作り上げなければいけません。私たちが何度も話し合ったり、作り直したりしている間に他の国が順調に作り進めているのを見ると、とても不安になりましたが、先生やボランティアの方々とも協力して最後の本発表では完璧な状態で披露することができました。

又、キャンプに参加している多くの外国人が日本のアニメを知っていたため、アニメに出てくる日本語についての話で盛り上がりました。食事の時に「いただきます」や「ごちそうさまでした」と大きな声で言ってくれるチームもあって、他国の人が日本に興味を持ってくれていることや、共通の話題で盛り上がる事が出来た時間を過ごせて本当に幸せでした。

外食をした時にはカエルやカモが食事に出てきたり、食べたことのない味がする料理が出てきたり、観光した時には、日本では見たことのないくらい大きな建物がたくさん並んでいたりして、日本ではあまり経験しない出来事ばかりだったので上海で過ごす毎日は驚きの連続で心から楽しむことが出来ました。

このメンバーで様々な経験を出来たことは私の一生の宝物です。

Thank you for a all encounters.我愛上海！！！！